



2011. 11. 20
No.42



結
yui



10月9日(日)「憲法9条の会つくば」6周年記念のつどい「9条まつりinつくば」は、11:00からの屋外イベントと、13:30からの室内での記念講演と9条カフェという2部構成で開催されました。ご参加、ご協力頂きました皆さま、ありがとうございました。つどい当日の様子をご紹介します。

6周年記念のつどい

——9条まつりinつくば 多彩な企画で楽しみました！



9条まつりinつくば 模擬店とステージ

▶焼きそば、カレー、チヂミ、豚汁、お赤飯、ジャム・スコーン、9条パンなどが並んだ模擬店。天候の心配があり、どの食材も50食程度で抑えたためか、お昼過ぎには売り切れてしまい、皆様にご迷惑をかけました。買った食料を、ベンチで食べておられるお客様、本当にのどかで平和な風景でした。平和な毎日が続きますようにと願います。また今回の9条パンは賛同人の息子さんのパン職人さんが焼いてくださったものです。

野外ステージとの距離がはなれていたことの指摘があり、食事を楽しみながらステージの鑑賞もできる場所であると良かったですね。ただ、模擬店の方は、電源の位置や、点字ブロックをまたがない場所などの制約があり他の場所は難しかったかもしれません。制約のない野外の広場のような所で、音楽の催しと一緒にまたやってみたいなあと考えています。計画から、買い出し、調理準備、当日の調理、後片付けとたくさんの仕事をしてくださった賛同人の皆さん、本当にありがとうございました。(穂積)

▶6周年のつどい、ステージイベントは、とても盛り沢山の内容で楽しいものとなりました。毎年の演奏して頂いている片平さんの和太鼓演奏から始まり、津軽三味線演奏と歌。ゴスペル仲間の「ZEN」

の皆さんの歌。私も遠い昔メンバーだったこともある「小径」の皆さんの歌。そして私のピアノ弾き語り、メッセージのこもった塚本君のバンド。最後に時間があまりなくなってしまったのが残念でしたが、うたごえ広場では、皆さんと楽しく歌いながら会を締めくくりました。

会場の場所の問題、事前打ち合わせの不足の問題、スタッフの人数の問題、機材の問題、その他いろいろと改善すべきことはあると思いますが、こういう多くの人に関わって行うイベントは、それだけ活動の広がりにつながるので、個人的にはいろいろと改良を加えた上でぜひ今後も続けていった方がいいと思います。

ご出演頂いた皆さん、当日に裏方で動いてくださった皆さんありがとうございました。(堀部)

活憲を訴えた講演会、弾む会話「9条カフェ」

▶午後 1:30からはサイエンスインフォメーションセンターで96名の参加を得て、伊藤千尋さんの記念講演「憲法を復興に活かそう！原発も基地もない世界を」を行ないました。

被災地福島への報告では、小学生の屋外活動が2時間に制限される中、マスクをしながら短時間の運動会を目の当たりにし、原発事故の罪深さを実感したとのこと。今も放射能を出し続ける福島原発、廃炉にするために何十年もかかるというこれからの道のりに福島の子供たちが巻き込まれる理不尽さを考えずにはられません。

自然エネルギーの利用については「アイスランドにある地熱発電を利用した世界一大きな露天風呂をまねて、本物の富士山を眺めながら入れる露天風呂を作ったらいい。戦闘より銭湯です！」と(→次頁)



いま一人ひとりが「9条を変えない」活動を！

樋田幸夫（憲法9条の会つくば代表・6周年のつどい実行委員長）

10月9日の「憲法9条の会つくば6周年記念のつどい」にご参加下さり、まことに有り難うございました。お陰をもちまして、「つどい」を無事に終えることができました。厚くお礼申し上げます。また、今回の「つどい」は私たちにとって新しい形式のものでしたので、その内容や運営の仕方などで私たち自身にも戸惑う点があり、その結果、みなさまにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

この「つどい」は、参加者一人ひとりが主人公として意見を述べて頂く場であり、またお互いの交流の場であるという位置づけで開かれました。したがって、講師のお話を聴くためだけの参加ではなく、講演後のグループ討論、コーラス、ジャズバンド、太鼓、津軽三味線や模擬店などを通して自己の意志を表現して頂くとともに、お互いの交流を深めることができるという考えのもとに進められました。この「つどい」についてみなさまが貴重なご意見やヒントを寄せて下さり、有り難うございました。これらのご意見、今後の「つどい」を含めた活動に生かしたいと考えております。

「憲法9条の会つくば」は、「憲法9条を変えない」という考えで一致した賛同人みなさまのものです。賛同人の方々がそれぞれ自分流のやり方で「9条を変えない」ための活動に関わられることを期待しております。今は平和と言えるでしょう。だからこそ大声で堂々と「戦争反対、9条守れ」と言えます。国が戦争の方向に傾き始めた時に「戦争反対」を言うには命を賭けなければならないし、仮にその時言っても手遅れであることは、先の戦争の経過を見れば明らかです。東日本大震災に国民の目が向かっている今、国会では憲法審査会で改憲審査を進めようとしています。大阪では君が代斉唱時に起立しない教師に懲罰を課すという教育基本法と憲法に違反する国家主義がまかり通っています。このような形で平和は崩されていくのが常です。今こそ、私たちは憲法9条を守り、これを暮らしに生かす具体的行動として、原発の廃棄を強く訴えなければなりません。



(→続き) 素敵な提案も。「市民運動は夢を語って楽しい未来を描くことが大事」を裏づけています。

憲法については、スペイン領カナリア諸島にあるテルデ市で、市長が日本国憲法第9条の「戦争放棄」を知って感動し、1996年「ヒロシマ・ナガサキ広場」を作ってスペイン語の「九条の碑」を掲げたことが紹介されました。9条の精神が世界に感動を与え「すべての命が当たり前前に尊重され、世界中が9条の精神で満ちる日が来るかもしれない」そうになったらどんなに素晴らしいか！

またコスタリカで感じた憲法と市民とのつながりの深さに比べて「私たちは護憲、護憲と言うほど憲法を使ってきたのか、憲法が活用されていたら年に3万人もの人が自ら亡くなっていくわけがない」と話され、「憲法を活かす＝活憲」の精神が命と直結していること、基地のこと、原発のこと、地域のこと、生活・安全・命を中心に据えた憲法を道しるべとして、一人ひとりが多彩な行動を起こしていく時なのだ、と実感できました。(塩川)

▶伊藤千尋さんの記念講演後、会場は6つのテーブルを配したカフェに早変わりした。今年の「つどい」は、基本的コンセプトとして「参加者すべてが主役」

「参加者すべてが交流する」ことを掲げており、そのための仕掛けの一つがこの「9条カフェ」であった。

コーヒーの香りが漂い、焼きたての9条クッキーが目を奪う、そんな雰囲気の中でカフェは始められた。6つのテーブルにはそれぞれ10人を超える参加者、各テーブルには司会者が配置された。これらのテーブルを講師の伊藤千尋さんが1つ1つ回り、直接質問を受け、それに応える形でカフェは進められた。講師がいないテーブルでは、自己紹介をし、日頃の活動を紹介し合い、問題提起がなされ、同じテーブルについている参加者がそれぞれ自分の意見を出し、議論が展開してゆく。少人数であり、コーヒーとクッキーという小道具もあって、参加者も発言しやすく、議論は活発に進められたようだ。

残念だったのは、時間があまりに短く充分発言出来なかったこと、テーブルが横長で、かつ他のテーブルの声聞こえてくるため、自分たちのグループの発言が良く聞き取れなかったことなど反省点は多い。今後改善の余地はあるが、こうした少人数で話し合うカフェ方式に期待するとの声が多かったことに、主催者として大変喜んでいる。

(長田)



6周年記念のつどい アンケート報告と感想、意見

つどいについて、アンケート、出演者、参加者から多くのご意見、ご感想をお寄せ頂きました。運営と当会への提言など、一部抜粋してご紹介します。



◆つどい全般について

- 具体的な話で説得力があった。自分たちの手で、自分なりのやり方で社会を変えていきたい。
- 自分に何ができるか悲観的ですが行動力のヒントをもらえた。日本の状況を考えるとつらくなる事が多いが少し元気をもらえた。
- 一人一人が自分でできることをやろうと気づかせてくれました。脱原発運動の行動が無理なくできる事を身近な人たちと話し合っていく事が一歩。国民投票の実現に参加したい。
- 一日を通しての参加は大変なのでこのような企画は参加しやすい
- 昔大震災後に満州事変、軍国主義に傾斜した事を考えると、今日の震災と原発事故がそういうことにつながる様、憲法を守る運動は大切。
- 通行人が多くいたのでチラシ配布した方が良かったのでは。
- 若い人たちが思ったより少ないのが気になった。
- 心を動かさないと人を動かせないので、理論的なことで進めるよりも、感覚的に平和というものはどうということなのか、幸せはどういうことなのか、を感じてほしいと思った。
- 活きのよい女性陣に圧倒されました。ただ「仲良しクラブ」風になってはいはしまいかも。

◆イベント・ステージについて

- 外で行ったため分散してしまっただ。参加者が少なく残念。
- 色々なイベントがあり楽しかった。天気がよく外で開催され気持ち良かった。
- ステージのレベルは「普通」の感じ。よくもこれだけ多種目の分野を集めたと感じた。
- ステージの作り方として、視聴者が最前列で座る一列だけは椅子を半円形に並べると場がしまる。
- 参加したサークルは午後の講演にも参加して欲しかった。9条の会の気持ちが参加サークルの全てに浸透していなかったかもしれない。
- 歌が良かったと言ってくれた人がいて、大変嬉しかった。(合唱・S)
- 秋晴れの空の下、「禅」のメンバー皆、心より「幸せ」を感じ歌わせて頂きました。大震災の経験後、という事もあり、歌を通じ本当に幸福な生き方とは？を改めて考えさせて頂く機会を与えて頂き、感謝しております。(「禅」メンバーO)

- 天候にも恵まれ、また音響も野外ステージとは思えないマイク設置、スピーカーの音量の設定もいき届いており、安心して津軽三味線の演奏ができて、とても満足してあります。ただ人の流れが少なく、観客が少なかったのではないかと思います。西武デパート側の前広場で行えば、人の流れがあつて良かったのではないかと思います。(津軽三味線・F)
- 売店は盛況でしたので、売店とステージと客席(ベンチ)を同じ場所にすると良かったと思います。つくばの街の特徴として、午前中は通行人がまばらです。12時過ぎから開始したほうが、賑やかになるかと思いました。(和太鼓・K)

◆伊藤千寿さん講演、カフェ

- 特に印象に残ったのは、高知県ゆづはら町の風車による町おこしの話。人口わずか4000人弱の町が3億円を投資して2基の風車で年間4000万円近い利益をあげ、そのお金で太陽光発電や小水力発電の普及に努めている、とのこと。行政・議会を市民目線に変えさせるよう、市民自身が力を注ぐ必要が有りそう。
- 伊藤さんが指摘になった「ドイツのナタネ油」は、自然エネルギーとはいえません。ナタネの栽培に相当エネルギー(栽培のための動力と肥料、それに収穫作業)を使いますから、自然エネルギーに入れない方が正しい。
- 講演会は大変、わかりやすく、おもしろく、勉強になった。
- 最初から最後まで聞き入った。面白く元気のでる講演だった。
- 班に分かれての話し合いもよかったと思う。

◆会への提案

- 9条の会の方々は、皆さんまじめで、どうしたら9条の運動を広げられるか考えておられるが、なんとなく、上から目線的な感じがする。
- 「9条の会」のイベントとしてもっと楽しいこと、気持ちも良いこと、おいしいものや美しいものに囲まれることなどを企画し、9条を守らないということが全て奪われるということを訴えたりしたらどうか。
- イエス、ノーで進んでいくと最後に9条を守る(さらに発展して9条を世界に広げる)となるパンフを作って街頭で配ったらどうか。

9 「憲法9条の会」6周年記念のつどい (資料)

6周年のつどいにご参加頂きました賛同人の皆さまには重複しますが、当日報告・提案された「活動報告と今後の目標」を掲載致します。

3月11日の東日本大震災、それに伴う福島原発事故を境に、日本は大きな転換点をむかえています。未曾有の大震災は2万人を超える犠牲者と多数の人々の家と生活の場を奪いました。特に原発事故の影響は重大で、放射性物質の汚染の影響は計り知れない被害をもたらし、対応の長期化を余儀なくされています。この大災害を乗り越え、これからの日本のあり方を考えていくために、憲法を生かし、いのちと平和を守ることの重要性を改めて確認したいと思えます。憲法25条にある生存権、26条の教育を受ける権利、27条の勤労の権利を保障すること、そして憲法13条「いのちと人権、自由と幸福追求権」、憲法前文にある「平和的生存権」を保障し、憲法9条を堅持することが求められています。

戦争における唯一の被爆国として核兵器の廃絶を求め、全ての原発を廃止して自然エネルギーへの転換を求めることが、いのちと子どもたちの未来を守る憲法9条の精神を生かすことに他なりません。

この災害と混迷の中、改憲手続き法発効からちょうど1年目の5月18日、参議院は、憲法改正原案を審議する憲法審査会の運営手続きを定めた「規程」を制定しました。前後して民主党は党内の憲法調査会を改めて発足させました。改憲勢力は、混乱に乗じて着々と改憲準備を進めています。

平和といのちを守りたいと願う国民の思いを、私たち憲法9条の会つくばもしっかり受けとめ、憲法9条を守り生かす世論を大きく広げ、深めていかなければならないと思えます。

I. 活動報告

1) 賛同呼びかけ

賛同人の方それぞれが、地域・職場・分野などで賛同を拡げています。また、さまざまな機会に広く賛同を呼びかけました。10月1日現在の賛同人総数は841名、市内在住の方は614名です。

2) 署名活動

つくば市有権者15万人の過半数獲得を目標に「憲法9条を変えさせない」署名活動を毎月第1日曜日と9の日にアルス前およびクレオ前で行っています。また地域・職場などでも署名を集めています。

今年7月26日には、皆様から寄せられていた国会請願署名を衆議院議長および参議院議長宛に提出しました。今回の署名数は3,596筆ですが、これまで通算4回、10,657筆を国会に届けたことにな

ります。

8月には「『憲法9条を変えないことを求める』署名ならびに『賛同』を掲げる活動へのご協力をお願い」を賛同人の皆さまにお送りしました。これまで皆さまから126筆の署名を寄せて頂きました。ありがとうございました。10月3日現在の署名総数は12,004筆となっています。

3) 広報活動

・広報チラシの作成と配布：

広く市民に9条の会の存在をお知らせし、9条を考えて頂く機会にしたいという思いから、昨年11月末～12月1日にかけて学園地区を中心に市内約38,000所帯に広報チラシをポスティングしました。

・成人式に参加する若者たちに向けて独自チラシを作成・配布し、署名を呼びかけました。

・全国の9999行動に呼応して、つくば駅改札前で、6周年のつどいチラシと広報チラシを200枚配布しました。

4) 地域における活動

・地域での署名活動や署名つきチラシ配布行動は、実行できませんでした。全有権者へのチラシ配布の広報活動とは別に、地域での独自宣伝を無理なく行う手立てを検討しています。

・昨年12月の市議会でつくば市地域交流センター条例が採択されました。つくば市公民館条例が廃止され、公民館が地域交流センターになり、有料化など運営内容が大きく変わる件について、説明会、意見交換会に出席し、会としての要望を運営に反映してもらえるよう働きかけを行ないました。

5) 学習、企画、催し物など

・「5周年記念のつどい」(10.10.3)では、立川談之助さんを迎え、記念講演「世相巷談」、落語「禁演落語」を行ない、約230名の方が参加されました。戦争中、言論弾圧の先手を打って落語53演目を落語協会自らが封印をし、お葬式まであげて墓を建てたというのが「禁演落語」。自由に笑うことも許されなかった戦時中を思い、落語を楽しめる平和のありがたさを改めて実感できました。

・11月21日には、学習企画としてNHK特集「その時日本は…」(1995年製作)のビデオ「60年安保と岸信介：秘められた改憲構想」を見ました。

1960年の日米安全保障条約改正を強行した岸首相の意図、反対闘争を抑えるための自衛隊治安出動をめぐる動きなど、戦後綿々と続き今に至る改憲構想の歴史を学びました。

- 若い世代に働きかけ、共に運動を進める目標を具体化するため、つくば周辺の若い皆さんと「結」38号の記事企画と連動させた「雨宮処凛インタビュー」を行ないました。2月27日土浦で行なわれたトークイベントの後、若い世代の皆さんが雨宮さんのお話を伺い、結にその感想などを紹介しました。
- 4月23日には第1回ピース9ツアーを企画、「春風にさそわれて『いわむらかずお絵本の丘美術館』へ行きましょう」を開催し、震災後間もなくでしたが22人（子ども3）の参加者を得て、いわむらさんご自身に本の朗読をして頂き、子どもたちや自然を思うやさしさにふれる旅となりました。
- 6月12日（日）に歌声喫茶をまつぼっくり保育園で開催しました。51名の参加を得て、堀部代表とヒューマン・ファーマーズのステージを楽しみ、リクエスト曲を時間一杯まで歌い大いに盛り上がりました。
- テレジン語る会いばらきとの共同開催で「朗読9の会」を9月4日に開催し、野坂昭如「戦争童話集」一遍とテレジン収容所の子どもの詩の朗読、札幌藻岩高校制作ドキュメンタリーを見ました。
- 他団体との共同行動として「10・21 県南大集会」「不戦のつどい」「5.1.メーデー」「つくば市母親大会」などに参加しました。筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会や茎崎9条の会と交流を深めています。

6) 「結」の発行

コミュニティー紙「結」を隔月発行しました。会で催した様々な活動、企画を写真と共に紹介し、親しみやすく賛同を拡げる力になるような紙面の改善に取り組みました。また時々の情勢について、憲法をめぐる動きについて、会の主張を掲載し、改憲の動きを伝える「ウォッチ！改憲の動き」なども掲載しました。

7) 「平和の鐘 一振り運動」

広島・長崎の原爆の日に、「ばってんネットワーク」が提唱する「平和の鐘 一振り運動」に賛同し、8月6日、9日の両日北斗寺で、6日長寿館で、原爆投下の時間にあわせて鐘を撞きました。また6日、9日の両日、自由めぐみ教会では牧師さんの呼びかけで「平和の集会」が持たれ、核も原発もない

社会を希求し、憲法9条を守り、平和な世界を作ることを心に誓いました。

8) 活動体制

5名の代表と8名の事務局員、27人の世話人を中心に、事務局会と定例世話人会とを隔月に開催し、そこで提案された課題を話し合い、活動を具体化してきました。「6周年記念の集い」は実行委員会をつくり、今回は特に参加者との交流に重点を置き、「9条まつり in つくば」として模擬店、ステージ・イベント、記念講演とその後の9条カフェを企画、実施しました。

9) 震災救援募金

4月の定例署名、9の日署名、うたごえ喫茶などで、震災救援募金を行ない、総額18,205円をつくば市社会福祉協議会を通して中央募金会に送りました。

II. 今後の活動の目標

市民の過半数が「憲法9条を守る勢力」になって頂くために、地域・職場・分野・サークルなど、草の根的に賛同を広げていきます。

市民に広く会を知らせるための広報活動を、さらに進めていきます。

未曾有の震災、原発事故で不安が広がる今、復興と安全を求めると同時に「憲法9条を守ろう！ 憲法をくらしに生かそう！ 戦争のない平和な世界を！」の運動を広げていきます。皆さんと一緒に国会での改憲の動きに目を光らせ、国民投票法の発議ができないよう、憲法9条を守り・生かす国民世論を興しましょう。



*** 「7周年記念のつどい」までに、次の目標を提案します。**

- つくば市で賛同人を700名にすることを目指します。
- 「憲法9条を変えさせない」署名を、1万3千筆以上集めましょう。
- 若い世代に働きかけ、共に運動を進めましょう。
- 地域への広報活動を進めましょう。
- 小学校単位の地域や分野・職場などに、たくさんの「9条の会」を作りましょう。
- 賛同人の交流を深め、9条の輪を広げましょう。



9月、10月の定例署名はそれぞれ第1日曜日にアルス前で、9日の署名は9月9日、9999 行動と共にクレオ前で行ないました。10月9日の6周年記念のつどいでは、署名32筆と5名の賛同を得ることができました。また「憲法を守ろう！10・21 県南大集会」では、81筆の署名にご協力頂きました。

9999 活動

9月9日9時9分(9999)の活動への呼びかけが今年もあり、「全国一斉9999 活動—9条を世界に」として、朝9時9分からつくば駅地下通路でチラシをまきました。6周年のつどい「9条まつり」のチラシと、全戸配布用チラシを各200枚配布しました。

10・21 県南大集会で署名行動

国際反戦デーの10月21日の夕、竹園公園にて恒例の県南大集会が開催されました。学研労協や県南の労働組合や当会を含む市民団体の主催です。集会参加者は330名、当会は「憲法9条を変えないことを求める」署名の協力を開会前に呼びかけました。寄せられた署名は81筆です。樋田代表が、「6周年のつどい」へのお礼と憲法9条が生存権を規定した憲法の

ウォッチ!改憲の動き

2011年7月～10月
民主党はこの間内部対立と与野党対立に翻弄され、対立を避けようと自らのマニフェストを投げ捨て保守・改憲の道を選び取った。こうした中、野田首相が就任。
7月21日 「憲法96条改正議員連盟」の2回目の総会開催。国会議員55人出席。
27日 民主党、参議院議員総会で、参院の比例代表20議席、選挙区20議席を削除して、総定数を202議席とするよう決定。
8月05日 「2011年版防衛白書」閣議決定。動的防衛力を強化するため南西地域への軍事力展開を明記。
30日 第95代首相に野田佳彦氏就任。政調会長に前原誠司氏を起用。党役員は改憲派。
9月14日 読売新聞の憲法世論調査で「9条を変えない」が58%、「変える」の32%を上回った。
10月20日 臨時国会開催。衆参両院それぞれの本会議で「憲法審査会」委員の選出を強行。
21日 衆参それぞれの憲法審査会が第1回会議を開催、会長を選出。

「憲法9条の会つくば」の活動から

◆賛同人 2011年11月10日現在
総数 855名 (市内 625名)
◆9条署名 11月15日現在 12,239筆

→根幹であると訴え、弁護士「大地」の戸張さんが来賓挨拶の中で、政党マニフェストを超えた憲法こそ守るべきものと話されました。集会後のデモ行進の先頭では、伊藤代表が横断幕を掲げる姿がありました。集会で採択された決議文が『憲法9条を守ろう！県南大集会』の名で出されているように、憲法を高く掲げた集会となりました。(事務局)

行動予定

12月4日(日) 定例署名 12:00～ アルス前
8日(木)9の日署名を開戦の日に 11:00～西武前
16日(金) 事務局会議 19:00～ 松代交流センター
1月8日(日) 成人の日署名 カピオ前
15日(日) 定例世話人会 10:00～ 松代交流センター

つくばレビュー

テレジン収容所の小さな画家たち展を終えて—継続する意志



2011年10月18日～23日 つくば美術館で開催
「ルース・ハイノヴァー、1934年2月19日生まれ、1944年10月23日アウシュヴィッツへ…」70点余の作品のカタログ照合を、展示の前日にした。約1時間、声を上げて確かめた。名前と生年月日、生存かアウシュヴィッツへ。20分程過ぎ、声が詰まってきた。この子は12歳、この子は9歳、この子は生存。照合しているだけなのだが、熱いものが込み上げてくる。『どうしてなんだ』と息がつまる。私たちは1年以上をかけ、学習会やイベントを重ねながら展覧会に漕ぎつけた。それは、史実や多くの資料がありながらも『どうしてなんだ』という思いが現実としてあり、その『どうしてなんだ』という思いは、晴れることは無いということわかっていながらも、時間をかけて事にあたらなければならなかった。

期間中に2563人もの入場者があった。私たちは、びっくりしたと同時に、至福も感じた。そして継続の意志を確認した。(テレジンを語る会いばらき 野口修)

インフォメーション

◇憲法9条牛久の会 5周年記念のつどい

日時：11月26日(土) 13:30～
場所：リフレ2階(プラザ)ひたち野牛久駅東口正面
第1部：東北震災復興への願いをこめ「がんばれ東北！津軽三味線」演奏・高校生
第2部：若い人から聞いてみよう&話し合おう
「高校生とともに考える」山本茂先生
連絡先：TEL/Fax029-872-2707 (事務局)

◇茎崎九条の会—原発学習会第2弾

日時：12月4日(日) 13:00 会場 13:30～
場所：茎崎交流センター 大会議室

内容：「つくば市茎崎地域を中心とする放射能被ばくの現状と今後の対処」
講師：横山和夫氏 (元日本大学理工学部教授)
連絡先：TEL029-876-1039 (伊藤政人)

◇12・8 不戦のつどい

日時：12月8日(木)18:30～
場所：松代交流センター
内容：すいとんを食べながら懇談、映画「谷田部海軍航空隊の記録」(つくば工科高校制作)鑑賞、講演「日本が戦争に巻き込まれないために」戸張順平氏(弁護士)
連絡先：TEL029-861-7320 学研労協